

第1回 耐震設計分科会 議事録

1. 日 時 平成13年7月3日(火) 10時00分~12時00分

2. 場 所 航空会館 501会議室

3. 出席者(敬称略,五十音順)

出席委員:青山(日本大学教授),秋野,市橋(原子力発電技術機構),井上(核燃料サイクル開発機構),伊庭(大林組),遠藤(日本原電),表(九州産業大学名誉教授),加藤(日本原電),金谷(関西電力),衣笠(東京工業大学),清原(九州電力),久野(中部電力),斎藤(東京電力),佐伯(四国電力),櫻井(電中研),佐藤(鹿島建設),柴田(防災科学技術研究所),柴田(北陸電力),白井(関西電力),竹内(清水建設),田治見(日本大学名誉教授),中川(日立),西(電中研),野田(東京電力),平山(東芝),藤田(東京大学),藤原(北海道電力),三木(富士電機),森山(大成建設),山浦(三菱重工業),吉岡(竹中工務店)(31名)

代理出席委員:伊澤(東北電力・遠藤代理),坂本(電源開発・平井代理),原(中国電力・熊谷代理)(3名)

欠席委員:岡村(東京理科大学),北森(法政大学),久保(名古屋工業大学),濱田(早稲田大学),原(東京理科大学)(5名)

事務局:浅井・堀江・小宮・猪木・岩井(日本電気協会)

4. 配付資料

資料 No.1-1 原子力規格委員会の活動経緯について

資料 No.1-2 原子力専門部会 耐震設計分科会 平成12年度活動報告

資料 No.1-3 原子力規格委員会 耐震設計分科会 平成13年度活動計画(案)

資料 No.1-4 「乾式キャスク貯蔵建屋基礎構造の設計に関する技術指針(仮案)」の進捗状況

5. 議事

(1) 原子力規格委員会の活動経緯の説明

資料 No.1-1 に基づき,事務局から,原子力規格委員会の活動経緯について,規約及び委員名簿を含め説明があった。

(2) 会議定足数の確認

事務局から,委員総数39名に対し本日の委員出席者数34名で,会議開催条件の「委員総数の2/3の出席」を満たしていることの報告があった。

(3) 分科会長の選任

加藤委員から、分科会長候補者として柴田 碧委員の推薦があり、事務局が、柴田委員以外に分科会長候補者の推薦がないことを確認した後、分科会長候補者である柴田委員について、単記無記名投票を行った結果、委員総数 39 名に対し柴田委員への投票数 33 票、白票 1 票で柴田委員が分科会長に選任された。

(4) 副分科会長及び幹事の指名

柴田分科会長より、副分科会長に原委員が、幹事に遠藤委員（日本原電）が指名された。

(5) 分科会長、副分科会長及び幹事挨拶

柴田分科会長及び遠藤幹事から、就任に当たっての挨拶があった。

(6) 原子力専門部会 耐震設計分科会 平成 12 年度活動報告の説明

資料 No.1-2 に基づき、事務局から、原子力規格委員会の前進組織であった原子力専門部会の耐震設計分科会の平成 12 年度活動報告について説明があった。

(7) 原子力規格委員会 耐震設計分科会 平成 13 年度活動計画案の審議

資料 No.1-3 に基づき、遠藤幹事から、原子力規格委員会 耐震設計分科会の平成 13 年度活動計画案について提案説明があり、以下の意見があった。

この平成 13 年度活動計画案について挙手による決議の結果、賛成 34 名、反対 0 名で提案通り了承された。

委員からの意見は以下の通り。

・「平成 13 年度計画として工程表を添付するとわかりやすいと思う。」という意見があり、
「JEAG4601 改定作業工程は、国の耐震設計審査指針検討工程に関連するが、この審査指針検討工程が明確になっていないので、明確になった時点で JEAG4601 改定工程を説明することとしたい。」という説明があった。

(8) 「乾式キャスク貯蔵建屋基礎構造の設計に関する技術指針（仮案）」の進捗状況の報告

資料 No.1-4 に基づき、斉藤委員から、「乾式キャスク貯蔵建屋基礎構造の設計に関する技術指針（仮案）」の進捗状況について報告があった。

(9) その他

・次回開催日時は、原子力安全委員会で検討中の安全審査指針の動向を踏まえて決定することとした。

以 上